

## 7 「むすぶ・やまなし」の実現

# 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
------	---	---------------

政策	1	県土を形成する骨格道路網の整備	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	10		
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>            海のない本県にとって、物流、防災など、高速道路に対する期待は大きいものです。このため、中央自動車道や中部横断自動車道をはじめとする骨格道路を整備するとともに、その効果を最大限に活用できるよう、県土に広域的な道路ネットワークを整備します。</p>						
平成19年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局		
	○ 中部横断自動車道の整備促進		P.130	県土整備部		
	○ 中部横断自動車道関連公共施設の整備		P.130	県土整備部		
	○ 中部横断自動車道の県負担額の軽減		P.130	県土整備部		
	○ 新山梨環状道路の整備		P.131	県土整備部		
	○ 西関東連絡道路の整備促進		P.131	県土整備部		
	○ 地域間を結ぶ国道・県道の整備		P.131	県土整備部		
	○ 中央道の6車線化及び圏央道の延伸の促進		P.133	県土整備部		
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）		51,313 百万円			
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）		18,205 百万円			
	前年度までの事業費		－ 百万円			
	本年度の事業費		18,205 百万円			
数値目標の達成状況	数値目標の名称		基準値 (基準年度) A	目標値 (目標年度) B	現況値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	主要渋滞ポイント（全47箇所）のうち解消箇所の割合		42.6% (H18)	55.3% (H22)	44.7% (H19)	16.5

## 主要な施策の成果

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 中部横断自動車道の整備促進  <b>【道路企画室】</b>	千円 ———	中部横断自動車道の早期完成を目指し、関係機関と調整を行うとともに、中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会等を通じて、国や中日本高速道路(株)などの関係機関に対する要望活動を行った。 ・各期成同盟会等への参画 7団体 ・関係機関への要望活動 7回
2 中部横断自動車道関連公共施設の整備  <b>【道路整備課】</b>	道路橋りょう建設費 ( 1,549,106) 1,083,912 [ 465,194]  道路橋りょう整備費 ( 313,962) 257,920 [ 56,042]	中部横断自動車道の整備が円滑に進められるよう、工事用道路やアクセス道路を整備するなど、関連公共施設の整備を推進した。 ・アクセス道路整備 市川三郷身延線(身延IC関連) ・バイパス道路整備 国道300号(身延IC関連)
3 中部横断自動車道用地の確保  <b>【道路企画室】</b>	道路橋りょう総務費 ( 138,320) 138,320	中部横断自動車道の整備に協力し、これを促進するため、国や中日本高速道路(株)から用地買収等に関する事務を受託し、用地の確保を進めた。 ・用地の確保 買収面積169,653㎡ 進捗率14.7%(平成20年3月末現在)
4 中部横断自動車道の県負担額の軽減  <b>【財政課】</b> <b>【道路企画室】</b>	———	中部横断自動車道の新直轄方式による整備区間に係る県負担額の軽減が実現するよう、地方交付税による財源措置の拡充に向け、国に対して強く働きかけを行った。 ・財源措置の拡充 県負担額の軽減を実現

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
5 新山梨環状道路の整備  【道路整備課】 【道路企画室】	千円 道路橋りょう総務費 ( 99,827) 78,199 [ 21,628]  道路橋りょう建設費 ( 6,855,169) 5,562,085 [ 1,293,084]  道路橋りょう整備費 ( 433,523) 373,987 [ 59,536]	甲府市内に集中する交通を分散し、交通渋滞に伴う経済的な損失や環境への負荷を軽減するため、国との連携を図りながら、新山梨環状道路の整備を進めた。 ・南部区間の整備 橋梁上部工 10 橋 舗装工 46,800㎡ 案内情報板 26 基 道路照明 166 基 ・北部、東部区間の環境影響評価、都市計画法手続き
6 西関東連絡道路の整備推進  【道路整備課】 【道路企画室】	道路橋りょう総務費 ( 30,644) 30,644  道路橋りょう建設費 ( 1,059,751) 603,028 [ 456,723]	本県と北関東地域との連絡を強化し、本県経済の発展や観光振興につなげられるよう、西関東連絡道路の万力ランプ（山梨市）以北の建設を推進した。 ・都市計画法手続き ・道路整備 国道 140 号三富道路 延長 0.4km
7 地域間を結ぶ国道・県道の整備  【道路整備課】 【都市計画課】	道路橋りょう建設費 ( 8,387,634) 5,812,585 [ 2,575,049]	県内の各圏域間や主要な拠点間の移動の円滑化を図るとともに、高速道路をはじめとする基幹的な道路に容易にアクセスできるよう、計画的に国道や県道の整備を進め、有機的な道路交通網を形成した。 ・基幹となる国道・県道の整備 国道 411 号塩山バイパス 延長 2.2km 国道 140 号横川橋 延長 0.3km

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
<p>8 地域の日常生活を支える道路の整備</p> <p>【道路整備課】 【道路管理課】</p>	<p style="text-align: right;">千円</p> <p>道路橋りょう整備費 ( 341,212) 251,015 [ 90,197]</p> <p>街路事業費 ( 760,861) 493,547 [ 267,314]</p> <p>道路橋りょう総務費 ( 19,570) 19,051 [ 519]</p> <p>道路橋りょう建設費 ( 776,459) 591,151 [ 185,307]</p> <p>道路橋りょう整備費 ( 3,671,699) 2,909,145 [ 762,554]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 139 号渋滞対策関連道路の整備 渋滞対策連絡協議会の設置 平成 19 年 5 月 渋滞対策連絡協議会の開催 5 回</li> <li>・国道 139 号バイパスの整備 国土交通省との事業調整会議</li> <li>・主要拠点や高速道路 I C へのアクセス道路の整備 都市計画道路滝坂下今井線 延長 1.2km 都市計画道路南下条穂坂線 延長 0.5km</li> </ul> <p>地域間相互のアクセスを向上するとともに、緊急時には避難路等としても活用できるように、日常生活で頻繁に利用する道路について、幅員が狭い箇所や危険な箇所等の改良を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を支える国道・県道の整備 白井甲州線 圭林バイパス 外 4 路線 4 箇所 延長 2.5km</li> <li>・交差点の改良、歩道の設置 国道 140 号 笛吹市石和町井戸地内 延長 0.2km 甲府市川三郷線 昭和町飯喰地内 延長 0.3km 甲府韮崎線 甲斐市中下条地内 延長 0.3km</li> </ul>
<p>9 富士五湖道路の第二東名接続の促進</p> <p>【道路企画室】</p>	<p>—————</p>	<p>東富士五湖道路と第二東海自動車道を結ぶ国道 138 号御殿場バイパス等の早期完成を促進するため、東名・中央連絡道路建設促進期成同盟等と連携して、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東名・中央連絡道路建設促進期成同盟会等と連携した要望活動の実施 要望活動 4 回</li> </ul>

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
10 中央道の6車線化及び圏央道の延伸の促進  <b>【道路企画室】</b>	千円 ——	<p>中央自動車道の上野原インターチェンジから八王子ジャンクションまでの6車線化の早期実現や圏央道の延伸を図るため、山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じて、国や関係機関等に対する要望活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県高速道路整備促進期成同盟会等を通じた要望活動の実施              要望活動 5回</li> </ul>

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	2	鉄道の利便性向上と地域航空の検討	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	9	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          周囲を山々に囲まれた本県にとって、地域と地域、人と人を結ぶことは、極めて重要です。このため、鉄道の利便性向上を図るとともに、地域航空についての検討を進めます。また、リニア中央新幹線の実現を視野に入れた取り組みを進めます。</p>					
平成19年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 地域航空庁内検討委員会の開催		P.136	企 画 部	
	○ 中央東線高速化促進広域期成同盟会の設立		P.136	企 画 部	
	○ 中央線高速化等利便性向上検討委員会の設立		P.136	企 画 部	
	○ 中央線の利便性向上を図るためのJR東日本への要望活動の実施		P.137	企 画 部	
	○ 山梨リニアファンクラブ会員の募集		P.137	企 画 部	
	○ リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会への支援		P.137	企 画 部	
	○ 山梨リニア実験線の用地取得		P.138	企 画 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			1,478 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			143 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			143 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	山梨リニアファンクラブ会員数	12,135 人 (H18)	15,000 人 (H22)	13,522 人 (H19)	48.4

## 主要な施策の成果

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 横田飛行場の民間航空利用に向けた国への要望  【知事政策局】	千円 ——	県民や本県を訪れる観光客等の利便性向上につながる横田飛行場の民間航空利用を実現するため、地元である東京都と協調しながら、国に対する働きかけを実施した。 ・国への要望 2回
2 地域航空庁内検討委員会の開催  【リニア交通課】	——	コミューター空港の適地、需要などについて再検討を行うとともに、横田飛行場の軍民共用化が実現した場合の交通アクセス、活用策などについて検討・研究を行うため、地域航空庁内検討委員会を開催した。 ・庁内検討委員会の開催 平成20年3月
3 「中央東線高速化促進広域期成同盟会」の設立  【リニア交通課】	交通安全推進費 ( 2,568) 1,956	中央線の高速化に向けた世論を喚起するため、本県をはじめ、長野県や沿線市町村等で構成する期成同盟会を設立し、国やJR東日本等に対する要望活動を行った。 ・中央東線高速化促進広域期成同盟会の設立 平成20年1月 ・国、JR東日本等への要望活動 平成20年1月
4 「中央線高速化等利便性向上検討委員会」の設立  【リニア交通課】	交通安全推進費 ( 17) 17	本県をはじめ、東京都、甲府市及びJR東日本で構成する「中央線高速化等利便性向上検討委員会」を設立し、中央線の高速化や利便性の向上などについて検討・協議した。 ・中央線高速化等利便性向上検討委員会の設立 平成19年11月 ・高速化、利便性について検討・協議 平成19年11月

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
5 パークアンド ライドの推進  【リニア交通課】	千円 交通安全推進費 ( 155) 0	公共交通を活性化し、環境にやさしいパークアンドライドを推進するため、普及啓発活動を実施した。 ・普及・啓発活動の実施 ラジオ番組での広報 平成19年7月
6 JR東日本へ の要望活動の 実施  【リニア交通課】	———	中央線の利便性の向上を図るため、甲府駅午前6時台の特急やE電の甲府駅乗り入れの実現、東京駅を始発終着駅とする特急の増発などについて、JR東日本に対する要望活動を実施した。 ・JR東日本への要望活動の実施 平成20年1月
7 リニア中央新 幹線の早期実 現  【リニア交通課】	企画総務費 ( 21,628) 19,544	リニア中央新幹線の早期実現に向けて、県民世論の醸成を図るため、普及・啓発活動を行った。 ・山梨リニアファンクラブ会員の募集 新規会員 1,387人増 ・普及・啓発活動の実施 県民の日など
8 リニア中央新幹線 建設促進山梨県期 成同盟会への支援  【リニア交通課】	企画総務費 ( 6,542) 6,542	リニア中央新幹線の早期実現に向け、リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会が行う要望活動や普及・啓発活動に対して支援した。 ・陳情・要望活動の実施 国への要望2回 平成19年5月、11月 ・広報・啓発活動の実施 バスへの車外広告の掲出 平成19年8月～10月 など

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
9 山梨リニア実験線の早期完成  【リニア交通課】	千円 企画総務費 ( 410,169) 74,929 [ 331,520]  道路維持費 ( 39,100) 39,100	<p>リニア中央新幹線実現の前提となる技術が早期に確立されるよう、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構から山梨リニア実験線に係る用地事務を受託し、その早期完全取得を目指すとともに、工事に必要な関連道路等の整備に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨リニア実験線の用地取得 買収率 99.2% (平成 20 年 3 月末現在) 買収件数 4 件</li> <li>・関連公共施設の整備 笛吹市道 10 号線</li> </ul>

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	3	情報ネットワークの活用	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	7	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>          急激な情報化時代が到来する中、地域間格差の広がりが全国的な課題になっています。このため、高速、大容量のネットワーク時代に向け、ビジネス、観光、遠隔地医療などの情報ネットワーク体制を整備します。また、その構築と維持に必要な人材を育成します。</p>					
平成19年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担当部局	
	○ 地域情報化推進協議会に「地上デジタル放送難視聴地域解消に関する調査研究ワーキンググループ」を設置		P. 140	企 画 部	
	○ C A T V事業者、共聴組合等実態調査の実施		P. 140	企 画 部	
	○ ブロードバンド・ゼロ地域解消に向けたロードマップ作成		P. 140	企 画 部	
	○ 地域情報化推進協議会に「ブロードバンド・ゼロ地域解消に関する調査研究ワーキンググループ」を設置		P. 140	企 画 部	
	○ 携帯電話不感地域の把握調査の実施		P. 140	企 画 部	
	○ 不感地域を抱える市町村の連絡会の開催		P. 140	企 画 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			419 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			68 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			68 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	情報ハイウェイへの接続数	16 件 (H18)	55 件 (H22)	34 件 (H19)	46.2

## 主要な施策の成果

施策・事業名 <b>【担当課名等】</b>	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
1 地上デジタルテレビ放送への対応  <b>【情報政策課】</b>	千円 ——	<p>地上デジタルテレビ放送を県内のすべての地域で等しく視聴できるよう、CATV事業者等の取り組みを促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域情報化推進協議会に「地上デジタル放送難視聴地域解消に関する調査研究ワーキンググループ」を設置 平成19年10月</li> <li>・ワーキンググループの開催による情報提供 2回</li> <li>・CATV事業者、共聴組合等実態調査の実施 全市町村 平成19年9月</li> <li>・ネットワーク基盤整備に対する技術支援の実施</li> </ul>
2 ブロードバンド・ゼロ地域解消のためのネットワーク基盤の活用  <b>【情報政策課】</b>	——	<p>県内のどこでも高速インターネットが利用できるよう、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、情報ハイウェイを活用したネットワーク基盤の整備について検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロードバンド・ゼロ地域把握調査を実施し、ブロードバンド・ゼロ地域解消に向けたロードマップ Ver.2を作成 平成20年3月</li> <li>・地域情報化推進協議会に「ブロードバンド・ゼロ地域解消に関する調査研究ワーキンググループ」を設置 平成19年10月</li> <li>・ワーキンググループの開催 2回</li> </ul>
3 携帯電話の不感地域解消  <b>【情報政策課】</b>	——	<p>携帯電話の利用可能地域の拡大のため、国、県、市町村、事業者の連携を図りながら、携帯電話の不感地域の解消を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話不感地域の把握調査の実施 平成19年9月（携帯電話不感地域29地区を把握）</li> <li>・不感地域を抱える市町村の連絡会の開催 平成20年1月</li> <li>・不感地域解消地区 3地区</li> </ul>

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
4 官民による情報ネットワークの活用促進  【情報政策課】	千円 ———	教育や医療の面での利便性の向上や地域産業の振興を図るため、情報ハイウェイなどの情報ネットワークの利活用について、官民一体となって検討を進めるとともに、情報ハイウェイへの接続を促進した。 ・情報ハイウェイへの接続数 18件増
5 山梨県図書館情報ネットワークシステムの運営  【社会教育課】	図書館費 ( 8,783) 8,743	県民の生涯学習環境を充実させるために、県内公共図書館等の所蔵資料の書誌データを蓄積した総合目録データベースの拡充を図り、これらの情報をインターネットを通じて提供した。 ・ネットワークシステムの維持管理 ・インターネットでの情報提供
6 土砂災害情報相互通報システムの整備  【砂防課】	砂防地すべり対策費 ( 86,920) 54,426 [ 32,494]	土砂災害が発生する恐れのある地域からの早期避難を促し、人的被害を未然に防止するため、警戒避難情報や危険箇所に関する情報を提供するシステムを整備し、携帯電話への配信システムを構築・運用した。 ・県から県民への情報提供システムの整備 携帯電話への配信システムの構築・運用 ・土砂災害情報の県ホームページによる提供
7 生涯学習情報の提供  【生涯学習文化課】	社会教育振興費 ( 4,510) 3,870	県民の生涯学習活動を支援するため、インターネットを活用した「やまなしまナビネットワークシステム」により生涯学習に関する情報の提供や学習相談などを行った。 ・やまなしまナビネットワークシステム学習情報等の提供 提供件数 12,984件 アクセス件数 836,370件

## 「チャレンジ山梨行動計画」 政策別実施状況

基本 目標	7	「むすぶ・やまなし」の実現
----------	---	---------------

政策	4	多様な分野における国際交流の推進	計画掲載事業数 (再掲は除く。)	11	
<p><b>【政策推進に当たっての基本的考え方】</b>                  富士山を眺望でき、豊かな自然があふれる本県は、宝飾、ニットなどの高い技術力を有するなど、世界に誇れる魅力の宝庫です。このため、海外との人的・物的交流を活発化し、山梨の魅力を発信することで、国際交流県やまなしの形成に努めます。</p>					
平成19年度の主な取り組み状況	項 目		頁	担 当 部 局	
	○ 通訳ボランティア等養成研修会の開催		P.144	観 光 部	
	○ 姉妹友好交流の推進		P.144	観 光 部	
	○ やまなしグローバルネットワークづくりの推進		P.145	観 光 部	
	○ 海外技術研修員の受け入れ		P.145	観 光 部	
	○ JICAボランティアへの参加促進		P.146	観 光 部	
	○ 富士北麓地域における国際交流ゾーンの検討		P.146	知 事 政 策 局	
	○ 海外見本市・国際商談会への出展		P.146	商 工 労 働 部	
事業費	行動計画の事業費（4年間の計画額）			997 百万円	
	施策・事業の実施に要した事業費（本年度までの実績額）			234 百万円	
	前年度までの事業費			－ 百万円	
	本年度の事業費			234 百万円	
数値目標の達成状況	数 値 目 標 の 名 称	基 準 値 (基準年度) A	目 標 値 (目標年度) B	現 況 値 (直近データ) C	進捗率(%) $\left(\frac{C-A}{B-A} \times 100\right)$
	外国人住民支援のための多文化共生施策を実施している市町村の割合	46.4% (H18)	85.7% (H22)	53.6% (H19)	18.3



施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
4 山梨県国際交流協会への支援  【国際交流課】	千円 諸 費 ( 6,810) 6,638	本県における民間国際交流活動を促進するため、(財)山梨県国際交流協会が行う諸外国との相互理解と友好親善を深める取り組みに対して支援した。 ・(財)山梨県国際交流協会への支援 国際観光振興事業 ボランティア通訳・通訳ガイド支援セミナー ホストファミリー受け入れガイドの作成 国連思想普及啓発事業 国際講演会「ブラジルに行った話」 高校生弁論大会
5 やまなしグローバルネットワークづくり  【国際交流課】	諸 費 ( 393) 252	本県にゆかりのある外国人や留学生が、国際交流や観光振興などの分野で本県に貢献出来るよう、これらの人材に関するデータベースを充実し、その活用を図った。 ・海外人材データベースへの登録 318人 ・新規対象者への周知徹底
6 国際交流センターの運営  【国際交流課】	諸 費 ( 39,828) 39,828	本県の国際交流・国際協力の中核拠点として整備した国際交流センターの管理・運営を指定管理者に委託し、サービスの向上と経費の削減を図った。 ・指定管理者への委託 (財)山梨県国際交流協会
7 海外技術協力の推進  【国際交流課】	諸 費 ( 15,157) 14,335	本県と開発途上国との信頼関係を構築し、その経済発展に貢献できるよう、これらの国々から研修員を受け入れ、知識や技能が修得できる機会を提供した。 ・海外技術研修員の受け入れ ブラジル連邦共和国など4か国から5人

施策・事業名 【担当課名等】	予算科目 (予算現額) 決算額 [翌年度繰越額]	施策・事業の概要
8 国際協力の推進 【国際交流課】	千円 諸 費 ( 708) 239	<p>青年海外協力隊等のNGO（非政府組織）の国際協力活動について、県民が正しい知識を持てるよう、出前講座やセミナー等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のJICAボランティアへの参加促進 12人</li> <li>・NGOセミナー等開催 出前講座開催 6回 受講者 1,146人 海外セミナー開催 2回 受講者 45人</li> </ul>
9 海外県人会への支援 【国際交流課】	諸 費 ( 1,960) 1,060	<p>本県と外国との架け橋となる海外県人会の活動を促進するため、これらの県人会が行う本県のPRや日本文化の伝承などの取り組みに対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外県人会への支援 3県人会 ザ・やまなしなど定期刊行物の送付</li> </ul>
10 富士北麓地域における国際交流ゾーンの検討 【知事政策局】	企画総務費 ( 456) 59	<p>地域の特性を活かした振興を図るため、富士北麓地域の市町村や商工団体等との連携を図りながら、国際交流ゾーンの在り方などについて検討を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富士北麓国際交流ゾーン構想庁内検討会の設置 平成19年7月</li> <li>・富士北麓国際交流ゾーン構想庁内検討会の開催 5回</li> </ul>
11 貿易の振興 【商業振興金融課】	商工振興費 ( 1,800) 1,287	<p>中小企業の海外取引を促進するため、関係機関による海外見本市への出展や専門アドバイザーによる企業への情報提供などの取り組みに対して支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門アドバイザー等による相談 48件</li> <li>・海外見本市・国際商談会への出展 各1回</li> </ul>